



北方圏農学科カリキュラムツリー

ー学びの広がりと繋がりー

講義名をクリック!!

概要を読めます

4年

生物産業学演習

科学英語

3年

北方圏農学特別
実験・実習

生物産業学演習

語学系科目

研究室配属

2年

北方圏農学実習

ライフサイエンス実験

フィールドサイエンス実験

語学系・教養系科目、学部共通科目

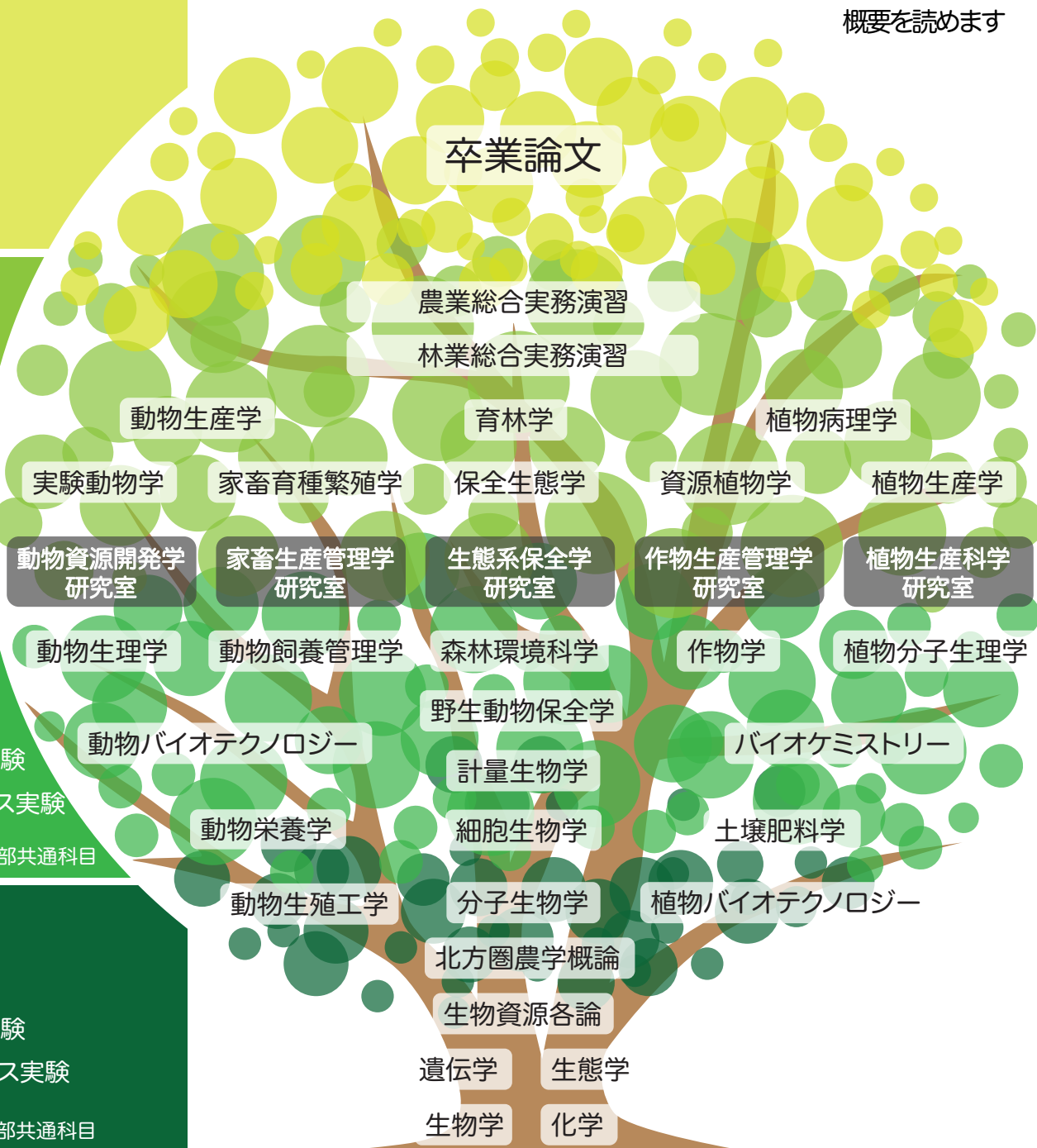
1年

北方圏農学実習

ライフサイエンス実験

フィールドサイエンス実験

語学系・教養系科目、学部共通科目



- 1年:** 学びの入り口・礎となる基本的・分野横断的な科目を学びます。
- 2・3年:** 応用的な科目へとシフトします。自らの興味に沿って科目をチョイスしてゆくとともに、3年次から所属する研究室を選びます。
- 4年:** それまでの学びの道筋を生かして卒論研究に取り組みます。



ほかではできないことがある。東京農業大学 北方圏農学科

豊かなフィールド経験

キャンパス内の身近な緑地から国内屈指の大規模畑や原生林まで、どれもが実習や演習の舞台。



ユニークな連携研究

異分野間の柔軟な連携が学科内で実現できる。幅広い学問領域をカバーする当学科のウリのひとつ。



網走近郊にある国内最大級のアッケシソウ群生地は、2011年に人為的攪乱で壊滅してしまいました。そこで、網走市から要請を受けた当学科では、3研究室がそれぞれ得意な研究分野を生かし連携することで、原因究明や再生対策に取り組みました。現在では最盛期の9割ほどにまで回復しました。



エミューは良質な食肉やオイルを生産する有用動物です。網走市はエミューを活用した地域活性化を目指していますが、エミューは家畜化されて間もないため、生産効率は良くありません。そこで当学科の遺伝学・繁殖学・栄養学を得意とする2つの研究室は、遺伝的改良・人工授精法の開発・機能性飼料の開発を通じ、生産効率の向上に取り組んでいます。